

CTED NewsLetter

Center for Teacher Education and Development, Okayama University

先進的教員養成プロジェクト最終報告会・シンポジウム

一般
向け

岡山大学大学院教育学研究科と教師教育開発センターは3月24日、平成23年度から実施してきた、文部科学省特別経費事業「先進的教員養成プロジェクト」の最終報告会・シンポジウムを開催しました。「教員の資質向上に寄与する『大学と学校・教育委員会の協働』の実現—学校教育改善との連動で教員養成教育を進化させる—」と題して、12大学や教育行政・学校から参加した約90人が、熱心な議論を繰り広げました。

岡山県教育庁高校教育課の竹田義宣課長からの来賓挨拶では、激しい時代変化の中で、「これからの学校教育を担う教員の在り方」について、各機関が連携を充実させて行くことへの期待が述べられました。

最終報告会では、高塚成信大学院教育学研究科長による本プロジェクトの取組概要



報告に引き続き、担当教員による各事業の最終報告が行われました。

「教科構成学開発事業部会」からは、教科構成(学)研究や授業ビデオライブラリーの構築、附属学校園との一貫教育研究との連携等に関して報告がありました。また、「学校課題解決のためのオンデマンド研修とインターンシップ実習の連動事業」からは、教職実践演習と関連付けて行っている「教職実践インターンシップ」が本格実施されるまでの道のりや、インターンシップ協力校へのオンデマンド研修実施に関する報告がありました。どちらの事業でも、改めて「『大学と学校・教育委員会の協働』の実現」に対する重要性が示され、今後も各機関が発展的に連携を継続していくことの必要性について言及されました。

この報告を受け、くらしき作陽大学子ども教育学部の高橋香代学部長から、ここまでの取組への評価の言葉と、今後さらに前向きに取組を進めるための助言をいただきました。

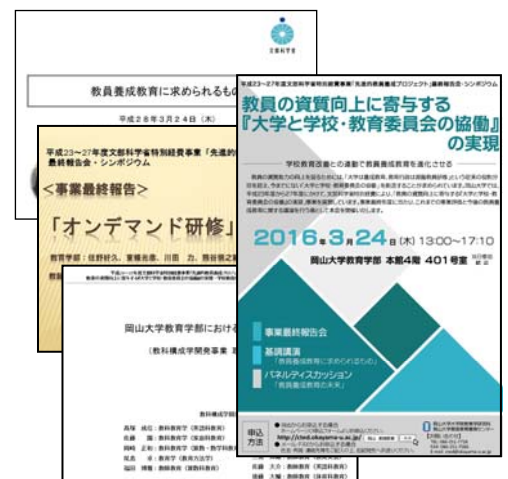
シンポジウムでは、文部科学省高等教育局大学振興課教員養成企画室の柳澤好治室長が「教員養成教育に求められるもの」と題して基調講演を行いました。講演では、教員養成大学に求められることとして、「各機関との連携」、「自分の大学の強みを知る」、「教職大学院のあり方を考える」等が挙げられました。また、今後も先進的に取組を行い、「岡山大学方式」とし

て他が応用できる形にまとめ、全国の参考モデルとなることへの希望が述べられました。

その後のパネルディスカッション「教員養成教育の未来」では、教員養成教育への関わりについて、学校・教育委員会・大学それぞれの立場から報告があり、フロアを含めた会場全体で活発な議論が行われました。

最後に、独立行政法人教員研修センターの高岡信也理事長から、「岡山大学の取組は、教員養成から研修まで見据えた教育学部を創り上げようとしているように感じる。」との助言をいただきました。

この報告会が取組の最終地点ではなく新たなスタートであるという決意と共に、無事シンポジウムを終えることができました。
【文責：加賀 勝】



TOPICS 今号の主な記事

- 【特集】教員養成プロジェクト最終報告会・シンポジウム
- 【報告】岡山県、岡山市教育委員会ボランティアシンポジウム
- 【告知】スクールボランティアフェア2016開催
- 【報告】教師力養成講座(第6, 7回)
- 【報告】平成27年度CST認定証授与
- 【連載】《教員リレーエッセイ》
教職支援部門 武藤 幹夫 教授(特任)
- 【連載】教員採用試験のツボ その十六「教職相談室で自信をつけよう」
- 【連載】教員採用試験受験記: 藤井美穂さん(教育学部)
- 【案内】教師教育開発センター紀要 第6号 発行
- 【案内】全学教職オリエンテーション開催
- 【掲示板】教員・講師等募集情報ほか



スクールボランティアに携わろう！

学生向け

教育委員会主催シンポジウム報告とスクールボランティアフェアのご案内

岡山県、岡山市教育委員会主催の ボランティアシンポジウム報告

2月22日(土) 岡山大学において、岡山市学校支援ボランティア「学生シンポジウム」が開催されました。6大学13名の実行委員の自主的な運営の下、112名の参加がありました。



第一部では、「学校支援ボランティアで学べること、味わえる楽しさ」というテーマでの活動・体験発表がありました。指導方法の工夫や児童の学習・生活の実態がつかめたこと、児童の成長や笑顔が見られてよかったといった話がありました。また、ボランティアを受け入れた学校から「仕事を続けていくために必要なこと」、「学校支援ボランティアの力を生かして進める地域の教育力の活性化」についての話がありました。第2部は、「聞いて！私の悩み」といったテーマで活発な情報交換・グループワークが行われました。実行委員から、「とにかく笑顔で子供と接すれば大丈夫、きっと子供が助けてくれる。子供たちと楽しい時間を過ごしてください。」といった応援メッセージが送られました。

3月13日(日)は岡山大学において、岡山県教育委員会主催の「教師への道」インターンシップシンポジウムが開催されました。岡山県の教員を目指して「教師への道」研修を受講している学生やこれから受講を希望している学生、学校支援ボランティアやインターンシップに取り組んでいる学生、関係大学の教員等、138名の参加がありました。

岡山大学教育学部教育実地委員長の李環媛教授と岡山県教育庁高校教育課の竹田義宣課長からの開会挨拶に続き、3つの大学から代表学生3名が出て「教師への道」研修を受講した成果や、これからの大学生活の取組方等についての実践報告と質疑応答がありました。これからもたくさんの子供たち、いろいろな人との関わりを持ちたいとのことでした。最後に、美作大学児童学科の佐々木勇准教授から「教員を目指す皆さんへ」と題しての講演があり、どの学生も終始熱心に聞いていました。

【文責：近藤弘行】

教師を目指す学生は全員集合！ スクールボランティアフェア2016！

「あなたは大学を卒業して教壇に立った時、一人前の教師として務められますか？」今、学校現場では即戦力が求められています。そのためにも、学校でのボランティア活動は大変有意義です。教育実習やインターンシップとは異なり、継続的に子どもたちと関わり、学校現場を知ること、実践的な指導力を身に付けることができます。そのためにも、まずはどのようなボランティア活動があるかを知り、担当者の説明を聞いて活動を始めることができるイベントが「スクールボランティアフェア」です。教育活動は多岐に渡ります。だからこそ、フェアに参加して、あなた自身の教師への道を進んでください。【文責：佐藤大介】

岡山大学 **学校ボランティアを見つけよう！**

スクールボランティアフェア2016

5月21日(土)

13:00～16:00
開場は12:30より

会場 / 岡山大学創立五十周年記念館
(岡山市北区澤島中1-1-1)

参加対象者
岡山県で教育支援ボランティア活動を始めたい、または取り組んでいる学生さん
(大学・大学院・短期大学・専門学校等所属は問いません)
子どもとともに成長したいあなた
お待ちしております！

入場無料 **途中入場自由**

**活動先がきっとみつかる！
出展ブースが魅力。**

- まずは全ブースを見て回る興味あるブースを探す
- ボランティア募集の掲載担当係から活動内容等を聞く
- 分からないことはすぐに解決ブースで積極的な相談・交流
- 話を聞いて気に入ったのならその場で手書き！
※から活動スタート！

2016年度の出展ブースのご紹介

- ◎ 総合ボランティア(もも11課・岡山ガーディアンズ) 岡山県警
- ◎ 「教師への道」インターンシップ 岡山県教育庁
- ◎ 児童生徒の学習支援ボランティア 岡山県教育庁
- ◎ ぼるボランティア 岡山県生涯学習センター
- ◎ 総合ボランティア「ブリーズ」 青少年教育センター-岡南学校
- ◎ 緑川マラソン 2016 岡山県民体育の会
- ◎ 岡山の教育子ども教室 岡山市教育後援会 岡山市教育後援会子ども教室
- ◎ はじめよう！岡山市学校支援ボランティア 岡山市教育委員会
- ◎ 岡山中学校土曜実践研修会 岡山市立岡山中学校
- ◎ 自然体験ボランティア 岡山市立少年自然の家
- ◎ マッチングまでやります！ 倉敷市学校支援ボランティア職員 倉敷市教育委員会
- ◎ 岡山スクールサポーター 総社市教育委員会
- ◎ 瀬戸内市学習支援ボランティア 瀬戸内市教育委員会
- ◎ 新幹線学習支援ボランティア 倉敷市教育委員会
- ◎ 美作子どもボランティアセンター 備前市教育委員会
- ◎ はやしほま 美作市支援本部(美作市教育委員会)

16 ブースが出展

持ち物
・学生証
・子供たちの夢を応援したいという気持ち

参加方法
事前の登録は必要はありません。当日会場にお越しください。
※駐車場あり/駐車場なし

お問い合わせ 教師教育開発センター
岡山大学教育学部教育実地センター・スクールボランティアビューロー
〒710-8530 岡山市北区澤島中3丁目1-1
TEL: 086-251-7728 FAX: 086-251-7586 E-mail: ctcd@okayama-u.ac.jp

第6回教師力養成講座 実施報告

「市立学校と生徒指導」～現場からの問題提起～

第6回は、学校現場で行われている生徒指導をとりあげ、倉敷市立第一中学校の榎田健志先生をお招きしました。先生は、戸惑いや苦労も多かった初任校での経験から話されました。初任校に支えてくれる同僚の存在があったことが「『自分がやろう』という覚悟」をつくったこと、それが授業の充実や保護者・関係機関との協力などの積極的な生徒指導の取組に繋がる力となったことを話されました。「優しさに基づく厳しさ」「自分が行ったことへの責任」を大切にして、「できることは怠けさせない」指導を進められたそうです。講話をもとに、グループで「生徒理解」と「ルール違反の生徒への指導」について意見交換をしました。

まとめの話からは、生徒を理解するために子どものよいところ

を見る姿勢をもち多様な情報から総合的に判断すること、社会で活躍する子どもに必要な社会性を描いて指導することの大切さなどを学ぶことができました。

【文責：武藤幹夫】



第7回教師力養成講座 実施報告

「魅力的な授業とは」～毎日 悩みながら追い求めていること～

今年度最後の講座では、「授業」に焦点を当て、岡山市立幡多小学校遠藤正和先生をお招きしました。自分の心に残る先生についてのペアトークの後、「5年後にしたい授業の姿」と「よい授業を実践するために教師に必要とされること」についてのグループワークが行われました。それを受けて、参加者と意見交換をしながら、先生の考えを伝えられました。授業で心がけていることとして、授業で学級経営を支えること、授業の目標とそれに迫るための手段とを明確に区別すること、日々の授業が確かに子どもを育てているという自負をもつこと、理想の授業ができなくても悩みながらも追い続けていることなどを話されました。

先生は、講座全体を一つの授業のように構成されました。問いかけやグループ活動、ワークシートを組み込んだ流れるような2時間でした。授業について話された内容から学ぶこととともに、授業の具体的な進め方を体験しながら学ぶことができました。

【文責：武藤幹夫】



合格

<教員採用試験受験記> 平成28年度 愛媛県 養護教諭 合格

連載

教育学部 養護教諭養成課程
藤井美穂 さん

教員採用試験を終え、私からアドバイスできることは、周りの友達と声を掛け合って対策を行ってほしいということです。私は、筆記の対策においても、息抜きを兼ねて、友達と一緒に語呂を考えたり問題を出し合ったりなど、楽しみなが

ら教採期間を過ごしました。また、私は人前で発言するというにとっても苦手意識がありました。そのため6月以降はほとんど毎日、教職相談室を利用するか、友達と時間を合わせて、集団討論や面接の対策を行いました。はじめは、自分の気持ちをうまく表現できず、言葉に詰まってしまうことも多かったです。しかし、友達の発言なども聞きながら練習

を重ねることで、うまく言葉にしようとするのではなく、簡潔に、素直に、自分の気持ちや意見を伝えることができるようになったと思います。教採は長期戦です。自分に合った勉強法を見つけて、息抜きも忘れず、ポジティブに頑張ってください。教職相談室の先生方、ありがとうございました。

教員採用試験の

ツボ

その十六「教職相談室で自信をつけよう」

連載

教員採用試験に限らず、官公庁も企業も人物評価が重視されるようになり、益々その度合いは増してきているように思います。受験を希望している都道府県・政令指定都市の「求める人物像」を把握していますか。また、その人物像と照らし合わせながら自分自身を見つめたことはありますか。まずはそこから対策を始めることが大切です。

例えば、本年度から単独実施される岡

山市が求める教員像は「教育に対する情熱」「専門家としての力量」「総合的な人間力」となっています。それら一つ一つについて、「自分は他人にはないこんな優れたものをもっている。」「このように努力して身に付けようとしている。」などと、面接で具体的に自信をもって語ったり、願書や小論文、模擬授業や集団活動などを通して表現したりすることが必要です。しかしながら、身に

付いていないものを大きく見せようと振る舞ってみても、すぐに見抜かれてしまうものです。結局「自分自身を高めること!」に尽きます。

本番の試験までにはまだ数ヶ月の猶予があります。友達と議論を交わしたり、教育観を固めたりして自分を高めましょう。教職相談室では、自信がもてるような様々なお手伝いをします。

【文責：河内智美】

ここでは最新記事の一部を掲載しています。さらに詳しい情報や最新の情報は掲示板等をごらんください。

教員・講師等募集情報

- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（横浜市）
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（大阪府（大阪市、堺市、豊能地区除く））
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（滋賀県）
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（相模原市）
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（大阪府豊能地区）
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（堺市）
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（埼玉県（さいたま市除く））
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（大阪市）
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（神戸市）
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（東京都）
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（京都市）
- 平成29年度採用 大学推薦による教員採用候補者の選考（京都府（京都市除く））
- 平成29年度採用 公立学校教員採用説明会（学内）（岡山県）
- 平成29年度採用 公立学校教員採用説明会（学内）（岡山市）
- 平成29年度採用 公立学校教員採用説明会（学内）（香川県）
- 平成29年度採用 公立学校教員採用説明会（学内）（島根県）
- 平成29年度採用 公立学校教員採用説明会（学内）（兵庫県）

スクールボランティア募集情報

- 施設ボランティア「渋川マリンス」(岡山県渋川青年の家)
- 玉野市適応指導教室(わかば教室)学生ボランティア(玉野市教育サポートセンター)

平成27年度CST認定証授与

平成27年度末で学生CST第一期生8名と現職CST第四期生9名がCSTとして認定され、その認定証授与式が3月



22日(学生)と3月28日(現職)に行われました。学生CST養成プログラムでは、これまで6名のパイロット生が認定されていますが、正規生としては初めてのCSTが誕生しました。学部や研究科での学びに加え、CST養成プログラムで培った理科教育に対する資質・能力を発揮した取り組みが期待されます。また、認定されたCSTが50名近くを数える現職CST養成プログラムでは、第六期生への説明会を実施し、新たに加わる10名が認定された第四期生から参加についてのアドバイスを受けました。【文責：山崎光洋】

教員リレー・エッセイ「思い込み」

教職支援部門 武藤 幹夫 教授(特任)

初めて北海道を訪れたときのことです。新千歳空港からJRに乗った。運良く座ることができたので、車窓に広がる景色を味わいながら札幌に向かいました。途中「恵庭駅」から乗車してきた女性3人ほどの話し声が、私の後方から聞こえてきました。「JR北海道のことが、報道されているでしょう。私の家の近くでも保線工事をしておられるけれど、夜遅くまで仕事をしておられるの。」「よくがんばっていると思うわ。」「国鉄が分割されたときから、JR北海道は大変だったのよ。長い路線があって、人は少なくてねえ。」「そうよねえ。・・・と話は続きました。なるほど、地元のことをしっかりと見ている人が感じた本音なのでしょう。同感しながら聞いていましたが、私の中に何か違和感がありました。3人の話は、話題を変えながらずっと続いていました。そのうちに、私の違和感が彼女たちの話し方にあることに気づきました。「旅先で会う人は方言で話すものだ」という私の勝手な思い込みです。そもそも北海道に方言があるのがどうかもよくわかっていません。確かに彼女たちの話は共通語のようでした。私は、力強さや感情がわ湧き出るような方言丸出しの話しぶりを、無意識のうちに期待していたのでした。



人間には、自分で勝手に思い込んでしまうことがあります。「学校」についてもそうです。「学校は課題ばかりで、教師はとにかく大変だ。」という思い込みはないでしょうか。教師と子どもが楽しく生き生きと学んでいる姿は、たくさんの学校の中にいっぱいあります。教師をめざす学生の皆さんには、学校のすばらしさを自分の目で確かめる努力をしてほしいと思います。

「さっほろ」と聞いてビールしか思い浮かべられないのは、少し残念です。

センター紀要(第6号)発刊

教師教育開発センター紀要(第6号)を3月4日に刊行しました。第6号は研究論文13本、実践報告5本の計18本を掲載しています。「岡山大学学術成果リポソトリ」の下記URLからPDF版を無償で入手できます。ぜひ、ご一読ください。

また、次号(平成28年度刊行予定)より、例年11月に行っていた「投稿申込書」の提出を廃止します。投稿を希望される方は、「原稿提出締切日(原則1月7日)」に原稿を提出していただくのみとなります。原稿募集についての詳細は、平成28年秋頃、教師教育開発センターホームページ等でお知らせする予定です。皆様の意欲的な投稿をお待ちしております。

【岡山大学学術成果リポソトリURL】

<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/journal/cted/5>

「全学教職オリエンテーション」<主として1年生対象>

全学オリエンテーションは、教育学部以外の学部にも所属しながら教員免許状取得を目指す学生さんを対象に実施する最初のプログラムです。教職への意志が明確な人も、迷っている人も気軽に参加してください。お待ちしております！

<前半部> ※後日「後半部」が別途あります。

【文系学部】 日時：平成28年5月13日(金) 7,8限
場所：教育学部講義棟2階 5202

【理系学部】 日時：平成28年5月11日(水) 7,8限
場所：一般教育棟B棟4階 B41

